

福島県PTA連合会会報  
第37号\_H06.02.26



福島県PTA連合会 53-5 内館 5982  
市黒岩字田部屋 45-5  
市黒岩字田部屋 45-5  
電話 (0245) 45-5982  
発行人 芳賀 裕  
印刷 泉孔印刷所  
電話 57-1071



県連P会長 芳賀 裕

### この一年を省みて

会長職につきまして九か月がたちました。

この間、三役、理事の方々はじめ会員の皆様の温かいご理解とご協力をいただきながら、年間計画に基づく事業の遂行ができましたことに心より厚く御礼を申し上げます。

さて、平成五年度の県連Pの行ってきた活動や果してきた役割を振り返ってみたいと思います。

まず、昨年実施された学校週五日制につき、文部省から脱偏差値を目標とした「業者テストの廃止」が打ち出されました。この問題については、県

内各地区で事情が異なることもあり、役員間の情報交換をし対応は各都市連Pにお願いをいたしました。

次に、「県立高校の入試改革」が県教委より明らかにされました。

これは、新しい学力観の捉え方や理解の仕方などによって大いに議論のある問題でもあり、十月の理事会の際に県教委から「改革」のご説明を受けた上で質疑応答をさせていただきました。

さらに、十一月には、県内十九地区の小中PTAの代表にお集まり頂き小学校部会は「学校週五

日制」中学校部会は「入試改革」について各地区の意見や情報交換をお願いいたしました。

今後、県連Pとしては、各地区に情報を送るだけでなく、情報や意見交換の場を定期的に設けるとともに、意見の集約をし、関係各方面に会員の声が届くように対応しなければなりません。切実に思います。県連P、郡市連Pが変われば単Pも会

員が率直に意見交換ができ、建設的で魅力ある活動に取り組むようなPTAに変わっていくのではないのでしょうか。

平成五年度優良PTAおよび功労者表彰式が、十一月十八日(木) ホテルニューオータニ鶴の間で

行われた。

席上、文部大臣、日本PTA会長から、多年にわたりPTA活動に尽力した功績を讃え、表彰状が送られた。

## 輝く文部大臣・日本PTA 会長表彰受賞

《平成五年度》

- 学校父母と教師の会
- 相馬郡小高町立福浦小学校父母と教師の会
- 個人
- 芳賀 裕 (県P会長)
- 大河内 守夫 (県P副会長)
- 津野 英行 (県P副会長)
- 宮森 泰弘 (県P副会長)
- 村越 寿夫 (県P副会長)
- 二瓶 由美子 (県P母親代表)
- 箱崎 恵子 (県P母親代表)
- 小野 輝子 (県P母親代表)
- 戸田 英一 (県P評議員)
- 初瀬 川昂 (県P評議員)
- 渡邊 宗孝 (県P評議員)
- 佐々木 十志春
- 小松 榮
- 齋藤 精二 (県P事務局員)
- 郡山市立富田中学校父母と教師の会
- 会津若松市立鶴城小

“県P小中学校別懇談会開かれる”  
地区PTA代表による  
小中別懇談会

学校教育の大きな転換期においてPTA活動の益々の重要性を認識し、また活動の活性化を図るために各地区のPTA活動について意見の交換が必要であるとの理事会での提案により、十一月二十四日小中別懇談会が、青少年会報で開かれた。

参加者は、地区の小中PTA代表、そして校長会代表として県校小中学校長会週五日制関係集計代表福島二中校長車田嘉宏先生、県中学校長会進路対策部長清水中学校長阿部重信先生であった。

最初に全体会が開かれ、県P芳賀会長が本会の趣旨説明・代表校長紹介を行った。その後小学校部会は「学校週五日制に関する地域の現状・PTAの対応」、中学校部会は「進路対策に関する地域の現状・PTAの対応」について話し合った。小中部会とも地区代表から具体的な課題が提示され、今後のPTA活動について活発な意見が交換され有意義な懇談会であった。



# 《岩瀬》 PTA会活動の 原点に立ちかえって

須賀川市立第三中学校PTA

須賀川は「花と緑の臨空都市」です、その東部市街地には東洋一といわれる牡丹園があり、多くの観光客が訪れます。本校はこの牡丹園に隣接し、東には宇津峰を、西には遠く那須連峰を望むところに位置します。



(活発な運営の交換があった教育懇談会)

当然のことですが、私たちのPTAは、学校に子どもを通わせる親と教師が、自らの課題を究めながら、自己教育力を育てる活動を中心として、健全育成・補導活動に努めて、対症療法的な取り組みではなく、常に今日的な課題を敏速に取り上げ、親と教師が同じテーマにつき、協議し合うように心掛けています。この具体的な事例としては「教育懇談会」が挙げられます。これは文教委員会が主管し、①「頭髪」について ②「学校五日制」について ③「進路」(中学生の進路)について ④「進路」(偏差値など)について ⑤「子どもの家庭生活」について等の分科会で協議を深めます。一方「教育講演会」は、学校から離れて市の文化センターを会場とし、PTA会員生徒共々聴講し、話題を共有するよう図ります。最近の講師には、作家の大石邦子先生

や、合唱で連続全国制覇の栄光に輝く安積女子高校の菅野正美先生方です。ちなみに、菅野先生は本校のご卒業でおられます。これらの活動は

本年度の県教委編・PTA指導者研修資料「みんなのPTA」に掲載されました。

平成三・四年度には、岩瀬地区PTA連合会の会長と事務局を担当しました。この活動のメインも会員の研修です。事務局校として、本校単Pの協力体制を整え、テーマの設定から、事務の一切に至るまで「親」の手で大会を運営することに全力を尽くしました。これは大きな改革であったと自負しています。本年度、前会長が全日本PTAから表彰されたのも、これらの活動が評価されたのと同じ嬉しく思います。

## 特色あるPTA活動

# 《回村》 学校・家庭・地域 ぐるみの奉仕活動

船引町立門沢小学校PTA

本校は、船引町の南に位置し、児童数七十名の小規模校です。平成三年、「同級の南に位置し、児童数七十名の小規模校です。」と始まったプルタブ回収運動。プルタブ百四十万個集めて車イスになるという気の遠くなるような話でした。

口こみ等で地域の会社、病院、また町外・見知らぬ方からも次々とプルタブが届けられました。それでも車イスには、まだまだ足りない十三万個でした。

でも子ども達と担任教師の熱意を環公害防止連絡協議会の目にとめていただき、不足分は他の地域から集められた分でカバーし、淳子さんに車イスを贈って



(プルタブ回収運動による車イスの贈呈風景)

器ともなりそれを拾うことにより環境の美化の意義も誠に大きい収穫があったと思います。次に本校奉仕活動をご紹介します。

本校の校舎は老朽化しベランダの柵のさびがひどかったので、会員の中心から、「PTA自分達で塗装作業をしよう」と話が決まりました。

パイプのわく組みから始まり、さび取り、塗装作業とみるみるうちにすっかりきれいになり本職顔負けほどの作業をすることができ、自分達でできることは自分達でやればよいとでき上がりに満足したのです。

本校の奉仕作業は全員参加し協力するという事を自負するところです。現在の活動の反省として、教師に頼りすぎることもあるのでそれを直視し、その年毎の特色あるPTA活動を目指して参りたいと思います。その事が子ども達の活力あふれる健全な成長を図れるものと信じております。



PTA活動のあり方や、母親としての役割等について研究を深め、PTA母親リーダーとしての資質の向上を目指す「第十四回県PTA母親リーダーセミナー」が、今年度も県下四方面で実施され、多大な成果を上げ終了した。参加者会員の今後の単Pにおける活動を期待します。

## 《県北方部》 研修会で学んだこと

小島小PTA 佐藤 朋子

昨年九月二十七日福島県青少年会館に於て、母親リーダーセミナーが開催されました。今年度より、PTAの会議の司会を担当するようになり、「各種会議の司会・進行の方法」「対立意見の調整」「意志決定の会議での事前準備」等、自己の経験不足・勉強不足

を痛感していた時でしたので、議事演題の「PTAでの会議の持ち方」に強く魅かれ参加いたしました。

## 《県中・南方部》 研修の成果を今後の活動に生かしたい

須賀川三中PTA 竹内 邦子

母親であり、PTA役員という共通の立場のため、和やかな雰囲気の中で、活発な意見の交換が行われました。今回このセミナーに参加して、会議の持ち方を学べて有意義でした。さらに、テーマにそって問題や意見を交換することによって、漠然と考えていたことが、意見を述べ、他の意見を聞き、フィードバックして考え、助言を戴き、明確なものとなる過程をも経験させていただき、大変勉強になりました。感謝しております。

昨年十月二十日須賀川文化センターで母親リーダー

# 母親セミナーに参加して

## 《会津方部》

### 有意義な一日を体験して

謹教小PTA 秋山 理恵

初めて参加させて頂いた母親セミナー。

どういう内容のセミナーなのか解らぬまま、不安のうちにセミナーに臨みました。

しかし、初対面のお母様方との自己紹介で、すっかり打ち解け、また、PTAのあり方、父親、母親それぞれ

しましたが、会議の方法についてはあまりよく分かりませんでした。話し合い学習の進め方について、詳しく学ぶ事が出来、本当に有意義なセミナーであったと思います。

また、ご一緒させて頂いた班の方々とも、交流を持つことが出来、私にとって実に貴重な一日でありました。

今回学んだ多くの事を今後のPTA活動において活かす事が出来ればと思っております。

有難うございました。

## 《浜方部》

### 新しい母親像を模索して

藤間中PTA 箱崎 恵子

こんな会初めて！楽しい！遠くの友達ができた！素敵な挨拶なさる方！私がかつて第七回セミナーに参加した時の印象です。

今では十四回を数える母親リーダーセミナーも私共母親会員の質の向上と共に、その果たす役割は随分変化してきております。

今回、竹田先生は日本

んおばあちゃんを思いやり、意見も尊重する。「親の後姿を見て子供は育つ」等々、お母さん達も色々な場で学習を積み重ね、見聞を広め自分を磨くことが家庭の教育力につながるのではないかと。討議の中で全体司会として貴重な体験をさせて頂きました。竹内先生、お母さん達の御指導御協力心から感謝しています。この講習会で学んだことを少しでもこれからのPTA活動に活かしていきたいと思っています。



(県中・南セミナー)

**習字 最優秀 作品**

**にじ**  
小じまなおこ (御厩小一年)

**ゆめ**  
ぐんじしのぶ (蓬萊小二年)

**用心**  
添田憲一 (五箇小三年)

**元気**  
坂本歩美 (永崎小四年)

**第17回**

**子どもの災害事故防止 習字コンクール 入賞者決まる**

第十七回子どもの災害事故防止習字・ポスターコンクールの審査は、二月七日と八日に福島県青少年会館で行われ、習字二八六点、ポスター四二点の入賞が決まった。今年も、習字一六七校から二八八三点、ポスターは八〇校から五三六点の応募があった。

習字は、蓬萊小学校教諭鈴木幸子氏、福島大学附属小学校講師桑原兵永氏、元野田小学校教諭小田雄氏が、ポスターは、元福島第四中学校長力丸毅氏が、一点一点慎重に審査した。各学年五本の学校代表作品のため、生き生きとした力強い作品が多かった。

**▼ポスター▲**

**【小学校の部】**

◆最優秀賞

- 山寺美 希(柏城小一年)
- 太田美穂(姥堂小二年)
- 若林絵美(川南小三年)
- 鈴木寛一(桜丘小四年)
- 大内智子(二本松北小五年)
- 八巻夏奈子(岡山小六年)

◆優秀賞

- 大河内友里恵(泉小一年)
- 和田信洋(西袋一小二年)
- 高木克哉(川南小三年)
- 大竹勝也(赤沢小四年)
- 安斎雅也(二本松南小五年)

◆優良賞

- 富岡明子(岡山小六年)
- 木戸正人(柏城小一年)
- 関澤拓也(千里小二年)
- 栗原宏美(御厩小三年)
- 八巻郁恵(岡山小四年)
- 荒和寛(桐福田小五年)
- 穴戸美保(岡山小六年)

◆佳作

- 相田雅則(一箕小一年)
- 大橋千恵(鏡石小一年)
- 水野智大(御厩小一年)
- 戸沢舞(関柴小二年)
- 藤沢良美(木幡小二年)
- 高田正幸(鳩原小二年)
- 高橋亮(一箕小三年)
- 鈴木瑠那(千里小三年)

**【中学校の部】**

◆最優秀賞

- 佐藤和佳子(白河二中一年)

◆優秀賞

- 大河原静江(平一中二年)

◆優良賞

- 谷川太一郎(若松二中二年)

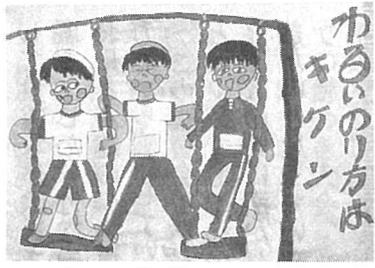
◆佳作

- 田口秀一(平一中二年)
- 江尻暁子(平一中二年)
- 澤田尚子(田人中三年)

**ポスター最優秀作品**



若林絵美(川南小三年)



太田美穂(姥堂小二年)



山寺美希(柏城小一年)

# 安全

薄井宏美(五箇小五年)

# 健康

杉山 忍(福大附小六年)

# 発展

斎藤由枝(郡山三中一年)

# 躍進

若狭智子(須賀川一中二年)

# 躍進

武田亜弓(県北中三年)

## ▼習字▲

### 【小学校の部】

#### ◆最優秀賞

- 小じまなおこ(御厩小一年)
- ぐんじ しのお(蓬萊小二年)
- 添田憲一(五箇小三年)
- 坂本歩美(永崎小四年)
- 薄井宏美(五箇小五年)
- 杉山 忍(福大附小六年)

#### ◆優秀賞

- いとう かなこ(柳津小一年)
- 石川みどり(大浦小一年)
- むらかみあや(福大附小一年)
- 郷麻衣子(五箇小二年)
- 木村 文(大浦小二年)
- しけあやの(福大附小二年)
- 安彦達治(御厩小三年)
- 深田雅俊(福大附小三年)
- 平館祐佳(二本松北小三年)
- 北村さやか(白河二小三年)
- 蛭田真樹(小名浜二小三年)
- 佐々木淳子(柳津小四年)
- 大川原 佑(福大附小四年)
- 安倍隆夫(鏡石一小四年)
- 斎藤裕美(柏崎小四年)
- 小山琴也(謹教小四年)
- 小室智春(桑野小五年)
- 東久美子(柳津小五年)
- 山本純子(泉小五年)
- 飯村育美(赤井小五年)
- 野崎真実(小名浜東小五年)
- 小林育代(鏡石一小六年)
- 馬場美由紀(一箕小六年)
- 二瓶聡子(河東一小六年)
- 風間典子(永崎小六年)

### ◆優良賞

- 猪狩木綿子(大浦小六年)
- あかつか あき(青木小一年)
- わたなべみさと(河東一小一年)
- さくまゆきな(汐見が丘小一年)
- すずきしゅえい(永崎小一年)

### 【中学校の部】

#### ◆最優秀賞

- 渡辺祐介(鏡石小二年)
- 増子大樹(鶴中野小二年)
- 江尻真衣(御厩小二年)
- 田辺章子(小名浜小三年)
- 溝井俊裕(大東三年)
- 斎藤瑛子(一箕小三年)
- 大竹紗矢香(川南小三年)
- 長谷川由香(柳津小三年)
- 古川龍太郎(郷ヶ丘小三年)
- 大谷朱香(小名浜西小三年)
- 後藤友希(宮小三年)
- 佐藤 豊(松川小四年)
- 橋本みどり(稲田小四年)
- 栗田有子(謹教小四年)
- 菅沼清二(長瀬小四年)
- 志賀俊之(御厩小四年)
- 山川貴史(赤井小四年)
- 小野秀典(中央北小四年)
- 鈴木麻里子(笈川小五年)
- 斎藤とも恵(掛田小五年)
- 輿石佳代(松川小五年)
- 西山陽子(上保原小五年)
- 梁取 里(大東小五年)
- 渡辺美紀(永崎小五年)
- 星野紘子(郷ヶ丘五年)
- 鈴木梢子(蓬萊小六年)
- 和田山真友美(蓬萊東小六年)
- 藤田小夜(二本松北小六年)
- 金内由加(野木沢小六年)
- 鈴木幸子(植葉南小六年)
- 大和田淑恵(小名浜東小六年)
- 猪狩美歩(大野二小六年)

#### ◆佳作 一九〇点

#### ◆優良賞

- 斎藤由枝(郡山三中一年)
- 若狭智子(須賀川一中二年)
- 武田亜弓(県北中三年)

#### ◆佳作

- 菅野恵子(桃陵中一年)
- 鈴木庸介(若松三中一年)
- 室井新吉(若松三中三年)
- 実戸美咲(西信中一年)
- 実戸千都子(福島二中一年)
- 加藤美佳子(桃陵中一年)
- 郡司知奈(郡山三中一年)
- 市川聖之(須賀川一中一年)
- 小原郁恵(若松三中一年)
- 片桐美樹(湯川中一年)
- 熊谷徳子(湯川中一年)
- 雨澤麻美(泉中一年)
- 鈴木富美子(泉中一年)
- 石川優里(二本松一中二年)
- 斎藤謙信(福島二中一年)
- 安藤幸夫(県北中二年)
- 市川泰之(須賀川一中二年)
- 芳賀弥生(矢吹中二年)
- 箱崎景子(藤間中二年)
- 和田育子(若松三中三年)
- 小松 愛(田人中三年)
- 高野かおり(岡東中三年)



鈴木寛一(桜丘小四年)



八巻夏奈子(岡山小六年)



大内智子(二本松北小五年)



佐藤和佳子(白河二中一年)

福島県PTA安全互助会地区別加入状況

(H. 6. 2. 1 現在)

Table with 7 columns: 区分, 小, 中, 合, 計, 単P数, 加入率. Rows list various districts like 福島, 達南, 伊達, etc.

( )は幼稚園数、○は養護学校(福島・相馬・いわき)・分校(東白川・いわき)

県PTA安全互助会だより

平成六年度より登下校中の傷害事故も補償対象に

平成六年度の福島県PTA安全互助会ご案内は、すでに一月末に各学校に配布いたしました。今回より、各学校へ直送することといたしましたが、各市町村教育委員

通事故多発の現況をふまえ、契約保険会社との話し合いにより、「登下校時の傷害事故」については、学校管理下ではあるが、特例として本会においても補償対象に加えるということになりました。

県小中学校新聞コンクール入賞校決定!

平成六年度 行事予定

県連P評議員会(総会) 六月三日

日P島根大会 八月十九日・二十日

東北P水沢大会 九月九日・十日

県P須賀川大会 十月十四日・十五日

新聞コンクール 十二月十五日

習字・ポスターコンクール 二月六日・七日

編集後記

福島民友新聞社・県PTA連合会が主催し、県教委・県小中学校長会・県中中学校長会の後援である第二十九回県小中学校新聞コンクールが、十二月十六日行われた。この会はPTA会報・学校新聞などのレベルアップを目的に開かれているものである。

- 最優秀: こだま(保原小PTA)
学校新聞: 飛躍(河東三小)
優秀: 向山(松陽中)
入選: 須二中タイムス(須賀川二中)

国内政治の枠組みが大きく変わるなど課題の多い年でした。学校においても学校新学習指導要領の実施・業者テストの廃止、高校入試の見直し等課題の多い年でした。今年度も残すところわずかとなりました。四月には、子供達がそれぞれ希望を持って進めるようPTAとして積極的な援助をしたいものです。